

▼有田コンピュータの目的▼

有田コンピュータは「IT事業を通じ地域に貢献する事」

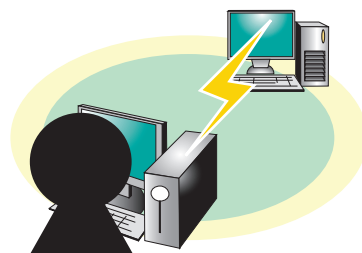
「顧客のパソコンによる業務改善を追求し、互いに利益を創り出し発展していく事」を目的として活動しています。

不正アクセスについて

不正アクセスとは、パソコンを悪意のある人（クラッカー）に支配されて、勝手に操作されることを言います。

自分のパソコンが、知らない人に勝手に操作されてしまう……。そんな恐ろしい犯罪「不正アクセス」の被害が増えています。

不正アクセスといえば、日本最大の価格比較サイト「価格.com」の事件が記憶に新しいですが、会社のパソコンだけではなく、あなた個人のパソコンにもその魔の手が襲いかかってくるかもしれません。



不正アクセスで受ける被害

DSLなど常時接続を利用する時代になり、インターネット上にいる時間が長くなったので、個人のパソコンでも狙われやすくなっています。

クレジットカード番号など、個人情報盗まれる

お金が目的のクラッカーは、クレジットカード番号を盗んで勝手に使ったり、会員制オンラインショップのID・パスワードを盗んで勝手に買物をしたりします。

ファイルを盗まれる・削除される

ハードディスクにある大事なデータファイルを盗まれたり、勝手に削除されてしまうこともあります。パソコンの起動に必要なファイルが削除されてしまうと、起動すらできなくなるケースもあります。

他のパソコンに攻撃するときの「踏み台」にされる

クラッカーが自分の居場所を探知されないために、あなたのパソコンを使って、ほかのパソコンやサーバーを攻撃したり、大量のメールを発信されてしまうこともあります。

これを「踏み台」といって、踏み台になると、場合によっては加害者の一味と見られてしまうことがあります。

主な侵入経路

■コンピューターウイルスを利用■

コンピューターウイルスに感染させ、不正アクセスが簡単にできる侵入経路を作る方法があります。メールに添付して送って来たり、無害なプログラムに見せかけてホームページからダウンロードさせ、実行させるタイプなどがあります。

■セキュリティホールを利用■

セキュリティーホールとは、ソフトのセキュリティー面の弱点のことです。

OSのWindowsや、Internet Explorerなどには、しばしばこのセキュリティホールが見つかります。そこを狙われて、悪質なプログラムを送り込まれる場合があります。

■直接攻撃する■

難易度は高いですが、直接パソコンへ不正アクセスをしようとするクラッカーもいます。常時接続の時代になり、その危険はより大きくなりました。



不正アクセス対策は、セキュリティを高めることがカギ

<ウイルス感染を防ぐ>

「メールの添付ファイルは不用意に開かない」「ウイルス撃退ソフトをインストールする」「あやしいサイトからは、ファイルをダウンロードしない」など、基本的なウイルス対策を常に心がけましょう。

<ソフトのセキュリティホールをなくす>

使用しているソフト、配布サイトをマメにチェックし、定期的に最新バージョンへのアップデート（更新）をしてください。セキュリティホールが見つかった場合、それを解消したソフトが配布されているはずですよ。

編集者より：有田コンピュータは8月15・16日はお盆お休みとさせていただきます。
よろしくお願ひ致します。(タナカ)